

第3回 経済観光部会の概要

日時：令和2年5月25日（水）15:00～16:30

開場：松本市大手公民館 視聴覚室

1 松本市対応方針案について

事務局より方針案について説明後、意見交換

- (1) 緊急事態宣言の解除で少し光が見えてきたこともあり、市が方針案で示した、再生のフェーズへの移行について部会も同意見。ただ、新しい生活様式の実践は意図的に稼働率を下げることになるため、こういった状況がいつまでも続くのは大変厳しい。
- (2) できるだけガイドラインに沿った対応が取れるよう、組合等を通して個店に働きかけたい。また、そういった個店の取組みを見える化し、安全性をアピールする意味でも、県の「新型コロナ対策宣言の店」の取組みに、市としても店舗に積極的な利用を働き掛けてほしい。

2 各業界の現況

- (1) 飲食業：売上 50～80%減でかなり厳しい状態となり、廃業する店舗も出てきた。テイクアウトも最初は物珍しさもありかなり盛況だったが、現在は落ち着いてしまっている。
- (2) 交通業：宣言解除により、通勤通学客の利用が増えてきた。高速バスは再開の検討に入っており、TDL等の大型施設の再開に期待している。
- (3) 旅行代理店：3～6月の団体旅行予約ゼロ（0%減というレベルではない）。県の「STAY 信州 地域支えあいキャンペーン」に期待したい。
- (4) 宿泊業：宿泊稼働率は現在 10%程度。経済活動が再開したことにより 6月稼働率 20～30%（8月 60～70%）を目指したい。
- (5) コンベンション協会：県外からの誘客促進のため、1年間有効な松本城、開智学校、美術館等共通の優待チケットの作成や、コンベンション会場となる公共施設等へのwifi整備を進めてほしい。
- (6) この土日に宣言後初となるイベント（植木市）を開催したが、かなりの盛況だった。そろそろコミュニティイベント等を再開する時期かと思われる。
- (7) 経営者として一番心配なのが雇用。4～6月が雇用調整助成金のピークで、その後の売上が戻らないと雇用が維持できなくなる。
- (8) 給付金等の制度の情報が伝わっていない層がある。

- (9) 新規創業者からは、創業スクール等に通って、何とか創業に漕ぎつけたが大変厳しい状況、また開業して間もないため、昨年度との減収比較ができず、給付の対象とならないことから、ぜひ支援をお願いしたいとの声があった。

3 まとめ

今後は

- ①これまで、国、県、市の支援策で救えなかった層（取りこぼした層）への対応
 - ②経済活性化に向けた取組みを重点的に行ってほしい
- といった2つの視点で対応を検討していく